

# 気体検知管の正しい折り取り方

チップホルダ上部の溝に沿って検知管を倒します。



注意！！

チップホルダの溝に沿わず、無理に検知管を倒した場合、検知管の検知剤充填部分が割れて、検知剤やガラスの破片が飛散し、たいへん危険です。



検知剤飛散例



検知管が割れた時は、ガラスの破片、検知剤、除去剤に素手で触れないで下さい。素手で触れると、けがなどをする恐れがあります。検知剤、除去剤に触れてしまった時は、直ちに水でよく洗い流して下さい。ガラスの破片や検知剤、除去剤は掃き取り、さらに水を含んだ濡れ雑きんで拭き取って下さい。酸素検知管31Eが割れて、もし検知剤が飛散した時は、白煙(塩化水素)が発生しますので、塩化水素を吸い込まないで下さい。吸い込むと目、鼻の痛み・せき込む等の恐れがあります。塩化水素を吸い込んだ場合は、直ちにうがいをし、さらに目、鼻を水でよく洗い流した後、すみやかに医師の診断を受けて下さい。